

一般公開シンポジウム

アルツハイマー病のバイオマーカーと 治療標的の同定 ～現状と課題～

日時

平成30年 **2月8日**(木)
午前10時00分～12時00分

入場無料
日本語講演

会場

東京大学大学院農学生命科学研究科
フードサイエンス棟 中島董一郎記念ホール

講演



「記憶学習のメカニズム研究と創薬試験法への応用」
関野 祐子 先生（東京大学大学院薬学系研究科・特任教授）



「Alzheimer 病臨床研究の現状」
東海林 幹夫 先生（弘前大学大学院医学研究科・教授）



「次世代型アルツハイマー病モデルを用いた研究最前線」
西道 隆臣 先生（理化学研究所脳科学総合研究センター・シニアチームリーダー）



「培養神経細胞を用いた神経毒性解析と病態モデルづくり」
白尾 智明 先生（群馬大学大学院医学系研究科・教授）

主催：群馬大学 白尾智明（AMED 再生医療実用化研究事業「創薬のためのインビトロ
脳機能評価法の確立と標準化ヒト神経細胞の開発」班）

協賛：国立研究開発法人日本医療研究開発機構

戦略推進部再生医療研究課／創薬戦略部医薬品等規制科学課

後援：NPO バイオフォーラム



問合せ先

群馬大学大学院医学系研究科神経薬理学教室
〒371-8511 前橋市昭和町 3-39-22
tel: 027-220-8052 fax: 027-220-8054
email: tisono@gunma-u.ac.jp